

## I 概要

### 【内政】

- 3日 アンデス議会直接選挙の廃止
- 7日 大統領就任式
- 11日 内閣改造
- 16日 FARCとの和平交渉への犠牲者の参加
- 25日 自由党新党首の選出
- 27日 保守党新党首の選出

### 【外交】

- 1日 マドゥーロ・ベネズエラ大統領の当国訪問
- 7日 サントス大統領就任式への河村特派大使の参列
- 12日 エド・ファスト・カナダ国際貿易大臣の当国訪問
- 14日 対ニカラグア「領土及び海洋紛争」事件ニカラグア追加提訴に対するICJ管轄外の主張
- 21日 オルギン外相のペルー訪問
- 22日 サンペール元大統領のUNASUR事務局長就任

## II 本文

### 【内政】

#### 1 アンデス議会直接選挙の廃止

3日、サントス大統領は、アンデス議会議員選挙（コロンビア割当分）を廃止する法案を承認した。この理由の一つは、白紙票が過半数を超えるため再選挙を実施せざるを得ず、そのために予算が浪費されると指摘されていたからである。

#### 2 大統領就任式

7日、大統領就任式が実施され、再選されたサントス大統領が就任演説を行った。演説では、2025年までに「完全な和平」、「公平な社会」、ラテン・アメリカで「最も教育水準の高い」国になるという政策の3本柱を示した。

紛争の終結は武力対峙の終了に過ぎないとして、大きな目標のために国民に対して団結するように要請した。社会問題に重点が置かれ、治安及び国防よりも教育に予算がより多く配分されることを示唆した。右派左派両方の長所を取り入れ、新たな社会的合意を構築するというメッセージを発し、左派への配慮も見せた。

公平な社会実現のための貧困削減対策には、無償住宅提供を継続するほか、貧困率が高い太平洋沿岸地域の生活向上に焦点を当てるプラン・パシフィコも含まれる。

### 3 内閣改造（閣僚リスト別添）

11日、サントス大統領は第二次政権発足に際し、内閣改造を実施した。カルデナス財務・公債大臣、オルギン外務大臣、ピンソン国防大臣、ガブリア厚生・社会保障大臣、エナオ住居・都市・国土大臣、モラノ情報技術・通信大臣及びガルセス文化大臣の7閣僚が留任した。

イラゴリ農業・地方開発大臣（前内務大臣）及びアルバレスーコア商工観光大臣（前運輸大臣）は横滑りとなった。

新任閣僚は、クリスト内務大臣（前上院議長）、レジェス法務大臣、ガルソン労働大臣、パロディ教育大臣、ゴンサレス鉱山・エネルギー大臣、バジェホ環境・持続可能な開発大臣、アベジョ運輸大臣であった。

なお、16閣僚中、12閣僚が（政治家としてではなく）専門家としての任命であったところ、サントス大統領は、自分が信頼を置く人物を閣僚に据えたとされている。大部分の閣僚は、国民統一党及び自由党員であった。

### 4 FARCとの和平交渉への犠牲者の参加

16日、キューバにて開催中の政府とFARCとの和平交渉において、犠牲者の代表12名が初めて交渉に参加した。

### 5 自由党新党首の選出

25日、オラシオ・セルパ上院議員が自由党党首に選出された。

### 6 保守党新党首の選出

27日、ダビッド・バルギル下院議員が保守党新党首に選出された。

## 【外交】

### 1 マドゥーロ・ベネズエラ大統領の当国訪問

1日、マドゥーロ・ベネズエラ大統領が当国カルタヘナを訪問し、サントス大統領と会談した。同会談において、両首脳は、麻薬対策における協力で合意したほか、FARCとの和平交渉が最終段階に入っているとの認識で一致した。また、両国共同管理の密輸対策センターの設置を発表した。

### 2 サントス大統領就任式への河村特派大使の参列

7日、再選されたサントス大統領の就任式典が行われ、河村建夫衆議院議員が特派大使として我が国を代表し、同式典に参列した。

同式典には、105カ国及び23の国際機関が代表を派遣した。そのうち国家元首が11名、前国王1名、大統領夫人3名、副大統領7名、外相4名、その他閣僚8名であった。

8日、大統領府において、国家元首ではない各国代表による大統領への接見が順次行われ、河村特使及び渡部大使が、サントス大統領、バルガス副大統領及びオルギン外相に接見した。

### 3 エド・ファスト・カナダ国際貿易大臣の当国訪問

12日、エド・ファスト・カナダ国際貿易大臣が当国を訪問し、ロンドーニョ筆頭外務次官及びモラレス外務次官（マルチ担当）と会談し、太平洋同盟及びコロンビアのOECD加盟への支援につき協議した。

同会談において、エド・ファスト大臣は、専門家派遣、中小企業支援、及び持続可能な経済成長プロジェクト等を含むカナダ貿易・開発ファシリティ（Canadian Trade and Development Facility）の創設につき発表した。

### 4 対ニカラグア「領土及び海洋紛争」事件ニカラグア追加提訴に対するICJ管轄外の主張

14日、サントス大統領は、ICJに対して、2013年9月16日のニカラグアによる提訴（2012年のICJ判決で決定された境界線を超えて、両国のいずれかに属する大陸棚の領域における両国間の海洋境界の明確な方向を決定することを要求）がICJの管轄外であることをICJが宣言するよう書面で要請した。

### 5 オルギン外相のペルー訪問

21日、オルギン外相はペルーを訪問し、グティエレス外相と会談した。同会談において、サントス大統領とウマラ・ペルー大統領が議長を務める二国間委員会の議題が協議されたほか、違法採掘への共同対処や国境地帯での開発計画等につき協議された。

### 6 サンペール元大統領のUNASUR事務局長就任

22日、サンペール元大統領が、2年間の任期でUNASUR事務局長に指名された。UNASURでは現在、人身取引、麻薬取引及び武器取引等の犯罪を裁くための、UNASUR刑事裁判所の設置が準備されている。

（了）